参考 12

処理技術保有企業に対するヒアリング事項

日本環境安全事業株式会社において、平成 19 年 8 月に実施した PCB 処理技術保有企業に対するヒアリングの項目（追加確認項目を含む。）及びその主な内容は次のとおり。

ヒアリング項目	ヒアリング内容
１．全体処理システム	
(1) 処理システムに係る基本的考え方及び主な考慮事項	・北海道事業の増設する施設の処理システムに係る基本的な考え方及び主な考慮事項
(2) ブロックフロー	・PCB 汚染物等の処理に関する各社提案処理システムのブロックフロー
(3) マテリアルバランス	・各社提案処理システムのマテリアルバランス ・電力量等
(4) 処理済物のリサイクル	・処理済物の排出量、リサイクル用途または処分方法等
(5) 処理工程からの排水	・工程排水の有無、工程排水を施設外に排出しないための方法、設備内容、及び使用するエネルギー、薬剤等の見込 ・用役排水の有無、用役排水を施設外に排出しないための方法
(6) 主要工程の系列数とスケールアップの考え方	・主な処理工程についての系列数。分解設備については、１基あたりの処理能力と系列数及びその考え方、並びに実証試験装置等からのスケールアップ倍率と当該スケールアップが問題なく実施可能と判断する根拠及びその裏付けとなる検討内容
(7) 配置計画	・処理工程の設備構成が分かるレイアウト図 ・複数階の場合は階毎に作成 ・建屋高さ、各工程の床面積及び延べ床面積
(8) 運転タイムチャート	・各社提案処理システムの運転タイムチャート
(9) 配慮すべき事項に対する対応	・容器内に収納されている PCB 汚染物等の処理に対する配慮 ・容器の処理に対する配慮

２．ＰＣＢ汚染物等の処理に対する取り組み等について	
(1) ＰＣＢ汚染物等の処理に対するこれまでの取り組み	・PCB 汚染物等処理の技術開発に関して、これまで実施した実証試験等の実績、設計用データ等の取得状況
(2) ＰＣＢ汚染物等の処理に対する今後の取り組み	・PCB 汚染物等処理の技術開発に関して、今後取り組む予定の実証試験等の内容及びスケジュール
(3) ＰＣＢ汚染物等処理に関する実証試験等の実績	・PCB 汚染物等処理の実証試験等の実績における PCB 汚染物の種類及び数量、処理物・排気等 PCB 濃度
(4) ＰＣＢ汚染物等の前処理	・処理にあたり必要となる薬剤の添加、数種の廃棄物の混合等の前処理 ・処理或いは容器に収納するために必要な切断、粉砕、容器積み替え等の前処理設備の安全対策（作業安全確保、PCB 拡散防止等）を含めた具体的内容
(5) ＰＣＢ汚染物等の処理における制約条件	・処理にあたり制約となる炉投入時の処理対象物の寸法・形状・含水率などの PCB 汚染物等の条件

３．最近の技術開発等の取組状況及び技術的成果	
(1) 「最近の技術開発の取組概要と今後の計画」	・最近の技術開発の取組概要と今後の計画
(2) 技術的成果	・PCB 汚染物等の処理技術に関する技術的成果 ・PCB 汚染物等の前処理に関する技術的成果 ・PCB 汚染物等の処理における排気、排水などの処理又はモニタリングに関する技術的成果 ・PCB 廃棄物の処理技術に関する特記すべき技術的成果